

Ciscoビジネススイッチでの簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)コミュニティの設定

目的

Simple Network Management Protocol (SNMP ; 簡易ネットワーク管理プロトコル) は、ネットワーク内のデバイスに関する情報の記録、保存、および共有に役立つネットワーク管理プロトコルです。これにより、管理者はネットワークの問題に対処できます。SNMPv1およびSNMPv2のアクセス権は、コミュニティの定義によって管理されます。コミュニティ名は、SNMP管理セッションとデバイス間の共有キーです。

このドキュメントでは、Cisco Business SwitchでSNMPコミュニティを設定する方法について説明します。SNMPビューがすでにデバイスに設定されていることを前提としています。詳細については、[ここをクリックします](#)。SNMPグループの詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- CBS250 ([データシート](#)) | 3.0.0
- CBS350 ([データシート](#)) | 3.0.0
- CBS350-2X([データシート](#)) | 3.0.0
- CBS350-4X([データシート](#)) | 3.0.0

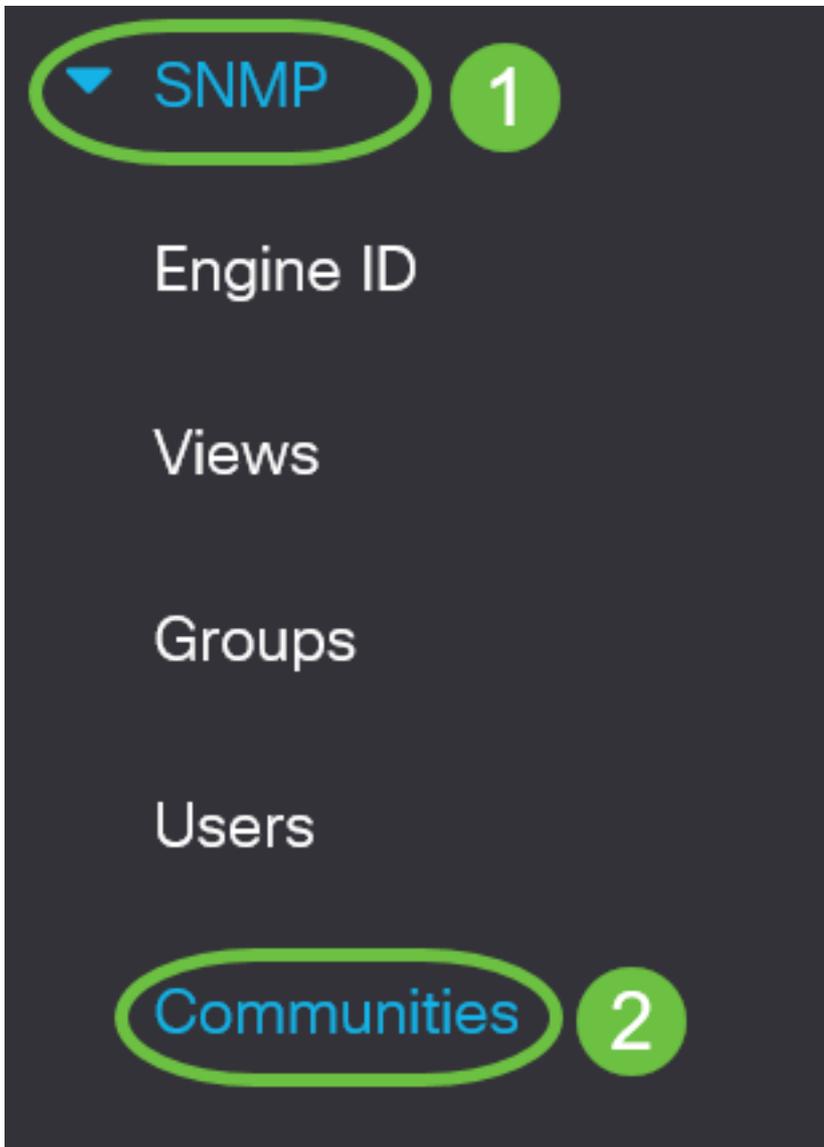
CiscoビジネススイッチでのSNMPコミュニティの設定

ステップ1 : スイッチのWebベースのユーティリティにログインします。

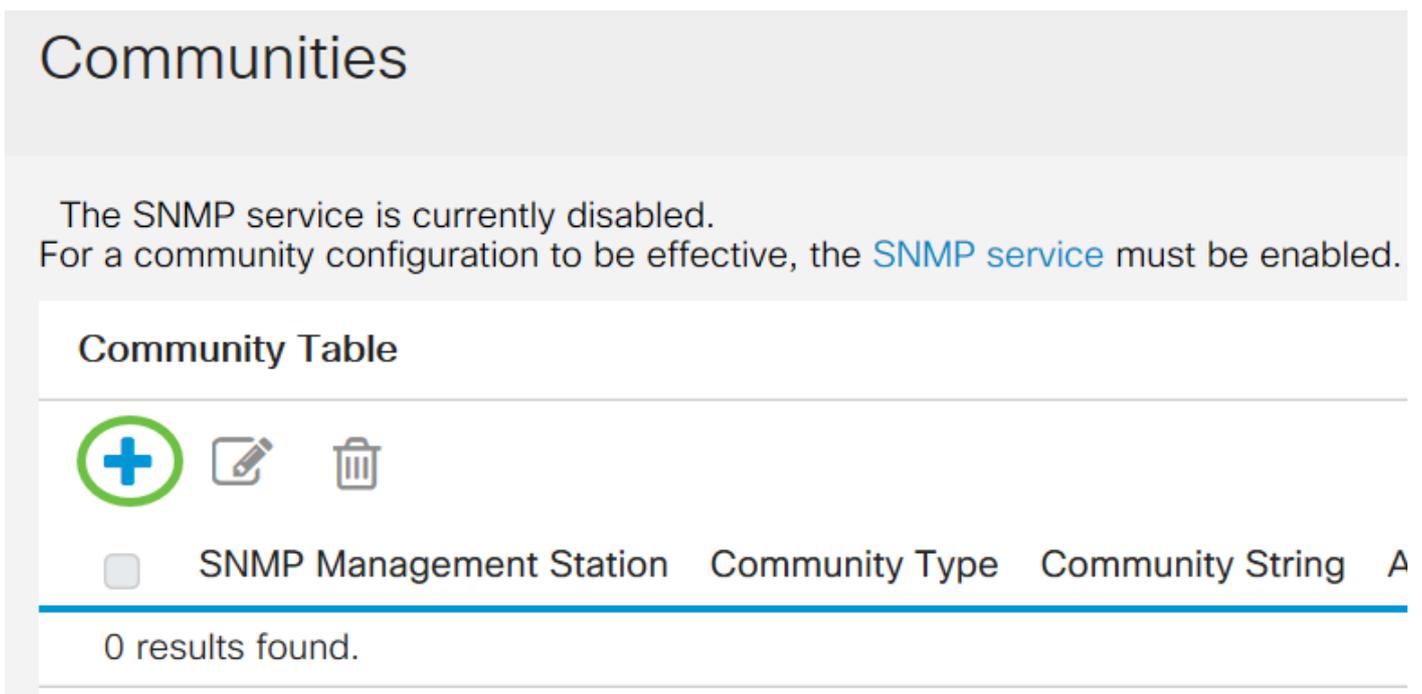
ステップ2:[Display Mode]を[Advanced]に変更します。



ステップ3:[\[SNMP\]](#) > [\[Communities\]](#)を選択します。



ステップ4:[Add]をクリックして新しいSNMPコミュニティを作成します。



ステップ5:SNMP管理ステーションのオプションボタンをクリックします。次のオプションがあります。

- All : このオプションを使用すると、すべてのIPデバイスがSNMPコミュニティにアクセスできます。
- [User Defined] : このオプションでは、管理ステーションのIPアドレスを手動で入力できます。

Add SNMP Community

SNMP Management Station: All User Defined

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface:

注 : この例では、[User Defined]が選択されています。[すべて]を選択した場合は、ステップ[8に進みます](#)。

ステップ6 : 目的のIPバージョンのオプションボタンをクリックします。次のオプションがあります。

- バージョン6 : 管理ステーションのIPアドレスがIPv6アドレスの場合は、このオプションを選択します。
- バージョン4 : 管理ステーションのIPアドレスがIPv4アドレスの場合は、このオプションを選択します。

Add SNMP Community

SNMP Management Station: All User Defined

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface:

注：この例では、バージョン6が選択されています。バージョン4が選択されている場合は、[ステップ8に進みます](#)。

ステップ7:[IPv6 Address Type]を選択します。次のオプションがあります。

- [Link Local]：このオプションは、アドレスがFE80で始まり、単一のネットワークリンクで一意に識別され、ローカルネットワーク通信に使用される場合に選択します。
- [Global]：このオプションは、使用するアドレスが他のネットワークから到達可能な場合に選択します。

Add SNMP Community

SNMP Management Station: All User Defined

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface:

注：この例では、[Link Local]が選択されています。「グローバル」を選択した場合は、[ステップ10に進みます](#)。

[ステップ8](#):[\[Link Local Interface\]](#)ドロップダウンリストから、アドレスを受信するインターフェイスを選択します。次のオプションがあります。

- VLAN : このオプションでは、アドレスを受信するインターフェイスとして仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)を使用します。VLANは、ネットワーク全体で1つまたは複数のスイッチにまたがる論理ブロードキャストドメインの作成に役立ちます。
- ISATAP : このオプションでは、Intra-Site Automatic Tunnel Addressing Protocol(ISATAP)を使用して、ホストとルータ、ルータとホスト、およびホストとホストの3つの方法でトンネリングを提供します。IPv6 over IPv4の自動トンネルを提供します。ISATAPは、IPv4ネットワーク内のデュアルスタックノードを接続するポイントツーマルチポイントトンネリングメカニズムで、IPv4ネットワークとIPv6ネットワークのリンクに使用されます。

Add SNMP Community

SNMP Management Station: All User Defined

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface:

 IP Address:

注 : この例では、VLAN 1が選択されています。

ステップ9:[\[IP Address\]](#)フィールドにSNMP管理ステーションのIPアドレスを入力します。

Add SNMP Community

SNMP Management Station: All User Defined

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface:

VLAN 1 ▾

✳ IP Address:

fe80::200:f8ff:fe21:67cf

✳ Community String:

(0/20 char)

注：この例では、IPアドレスはfe80::200:f8ff:fe21:67cfです。

[ステップ10:](#)[Community String]フィールドに、管理ステーションをデバイスに認証するために使用するコミュニティ名を入力します。

Add SNMP Community

SNMP Management Station: All User Defined

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface:

VLAN 1 ▾

✳ IP Address:

fe80::200:f8ff:fe21:67cf

✳ Community String:

Test_Community

(14/20 characters used)

注：この例では、コミュニティ文字列はTest_Communityです。

ステップ11：指定したコミュニティのオプションボタンのいずれかを選択します。

- 基本 – 基本モードは、コミュニティアクセスレベルの選択に役立ちます。次のオプションがあります。
- 読み取り専用：ユーザは読み取り専用です。

- 読み取り/書き込み：ユーザは読み取り/書き込みを行うことができ、デバイス設定を変更できます。ただし、コミュニティを変更することはできません。
- SNMP Admin：すべてのユーザがすべてのデバイス設定にアクセスでき、コミュニティを変更できます。
- [詳細]：このオプションは、ステップ7で[IPv6 Link Local]を選択した場合にのみ使用できます。このオプションは、グループ名に関連付けられたグループメンバーへのアクセス権を付与します。[Group Name]ドロップダウンリストからグループ名を選択します。

Add SNMP Community

SNMP Management Station: All User Defined

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface:

✳ IP Address:

✳ Community String: (14/20 characters used)

Basic

Access Mode Read Only Read Write SNMP Admin

View Name

注：この例では、[Basic]が選択されています。

ステップ12: (オプション) [View Name]チェックボックスをオンにし、[View Name]ドロップダウンリストからSNMPビューの名前を選択します。このリストでは、アクセスが許可されるMIBサブツリーのコレクションが指定されます。これにより、基本モードから選択したオプションに基づいて適切な権限を付与できます。

Add SNMP Community

SNMP Management Station: All User Defined

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface:

IP Address:

Community String: (14/20 characters used)

Basic

Access Mode Read Only Read Write SNMP Admin

View Name

注：[View Name]オプションは、SNMP Adminまたは詳細モードでは使用できません。この例では、[Default]が選択されています。

ステップ13:[Apply]をクリックします。

Add SNMP Community

X

SNMP Management Station: All User Defined

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface:

IP Address:

Community String: (14/20 characters used)

Basic

Access Mode Read Only Read Write SNMP Admin

View Name

Advanced

Group Name

ステップ14: (オプション) [保存]をクリックし、スタートアップコンフィギュレーションファイルに設定を保存します。

 CBS350-8P-E-2G - switc...

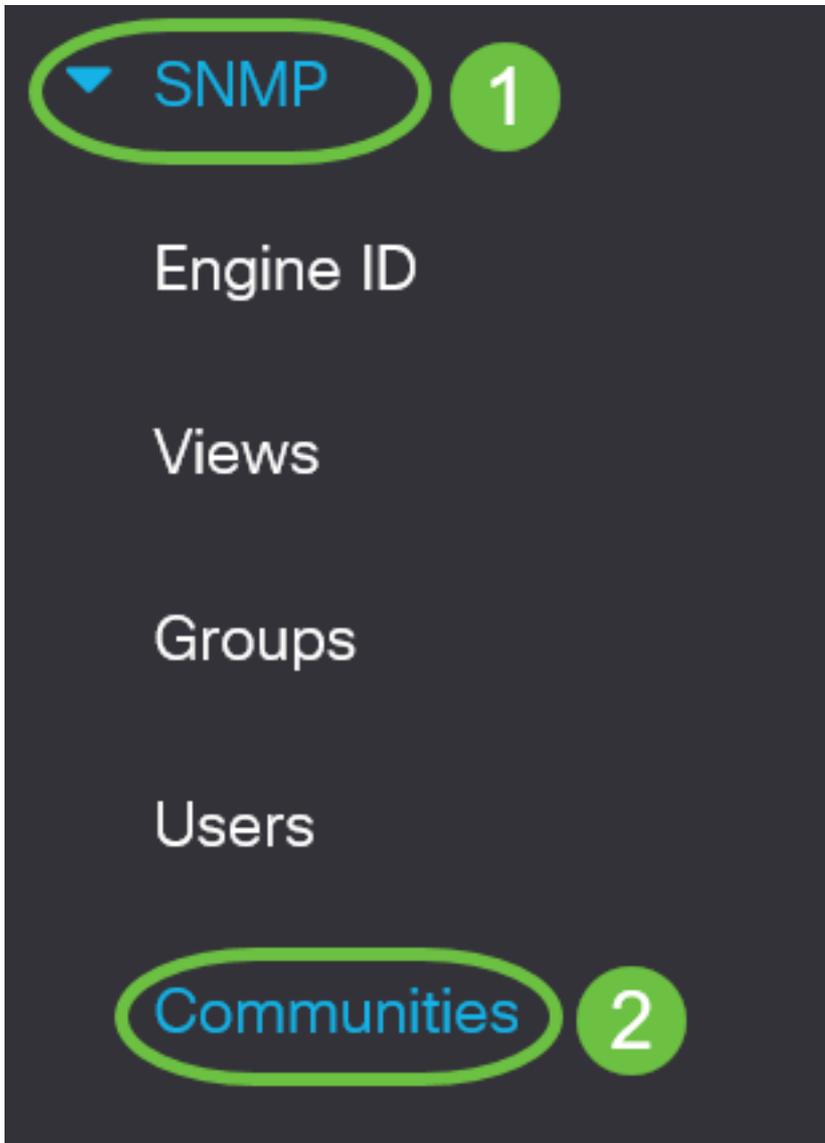
これで、スイッチにコミュニティが正常に追加されました。

SNMPコミュニティの管理

ステップ1：スイッチのWebベースのユーティリティにログインします。

ステップ2:[Display Mode]を[Advanced]に変更します。

ステップ3:[SNMP]>[コミュニティ]を選択します。



ステップ4：編集する必要があるコミュニティのチェックボックスをオンにし、[編集]ボタンをクリックします。

Community Table



<input type="checkbox"/>	SNMP Management Station	Community Type	Community String
<input checked="" type="checkbox"/>	fe80::200:f8ff:fe21:67cf%vlan1	Basic	Test_Community

1

ステップ5 : 目的のフィールドを編集し、[Apply]をクリックします。

Edit SNMP Community

x

SNMP Management Station: fe80::200:f8ff:fe21:67cf%vlan1

Community String: Test_Community

Basic Access Mode: Read Only View Name Read Write SNMP Admin

Advanced Group Name:

ステップ6: (オプション) コミュニティテーブルからコミュニティを削除するには、対応するチェックボックスをオンにして、[Delete]をクリックします。

Community Table



<input type="checkbox"/>	SNMP Management Station	Community Type	Community String
<input checked="" type="checkbox"/>	fe80::200:f8ff:fe21:67cf%vlan1	Basic	Test_Community

1

ステップ7: (オプション) [Save]をクリックして、設定をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。

これで、スイッチからSNMPコミュニティが正常に削除されたはずです。